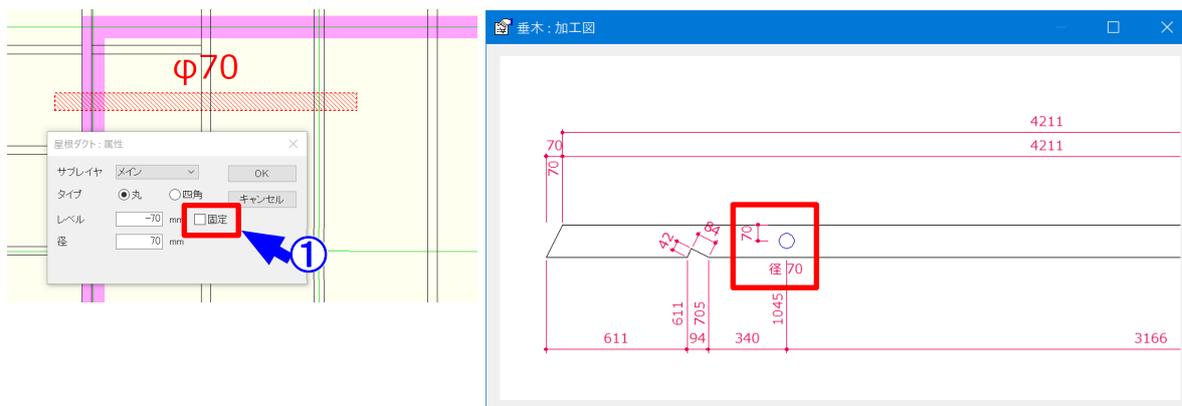
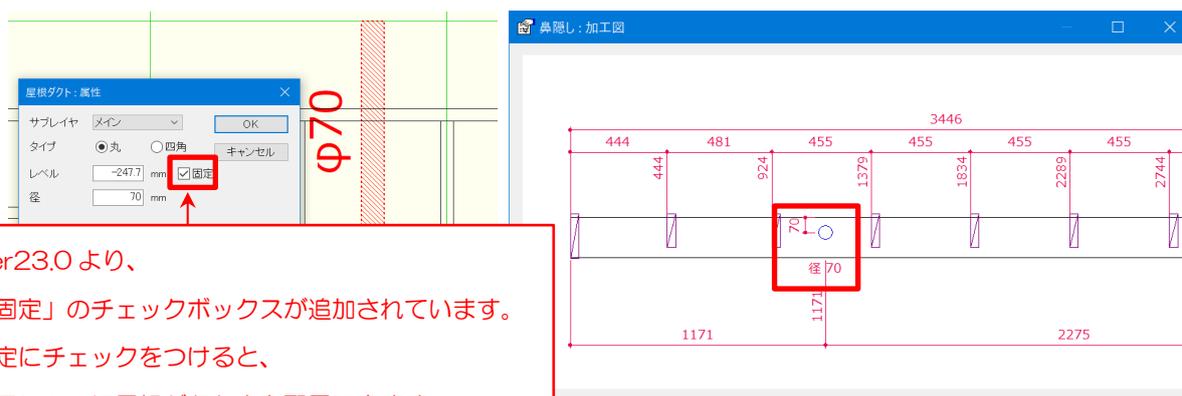


屋根ダクト穴加工配置の機能拡張



① レベルを「固定する」場合、水平レベルにダクト穴が配置されます。

※配置基準レベルは、軒高からプラスマイナス値になります。



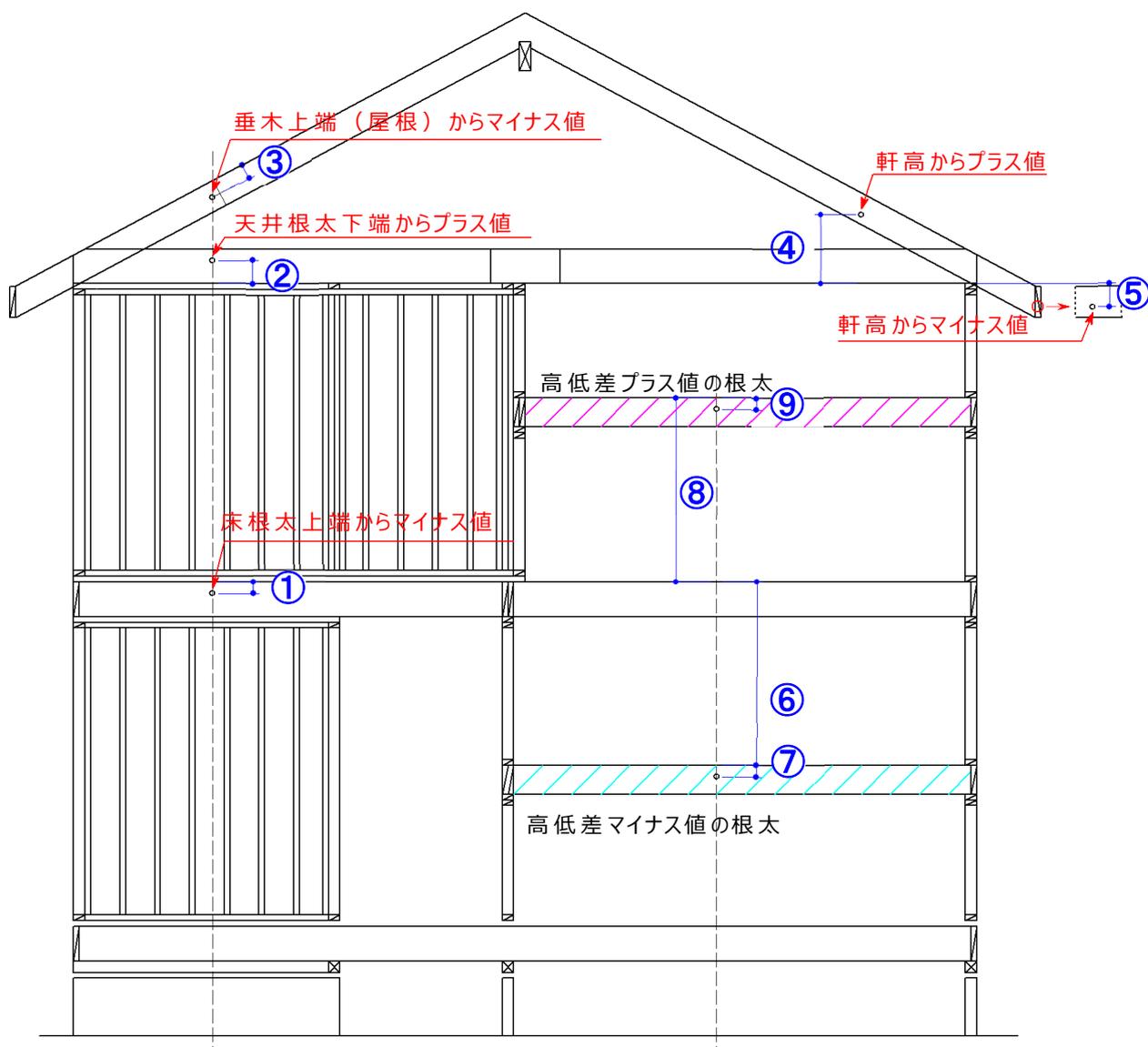
Ver23.0より、
「固定」のチェックボックスが追加されています。
固定にチェックをつけると、
水平レベルに屋根ダクト穴を配置できます。

- ・径：「タイプ」で「丸」を選択した際に、ダクト穴の径を直接入力で設定します。
- ・巾／成：「タイプ」で「四角」を選択した際に、ダクト穴の巾、成を直接入力で設定します。

④ 「配置」で「単独」を選択した場合は、①～②点で屋根ダクトを配置します。

※〔自動生成－加工〕を実行すると屋根ダクトが生成されます。

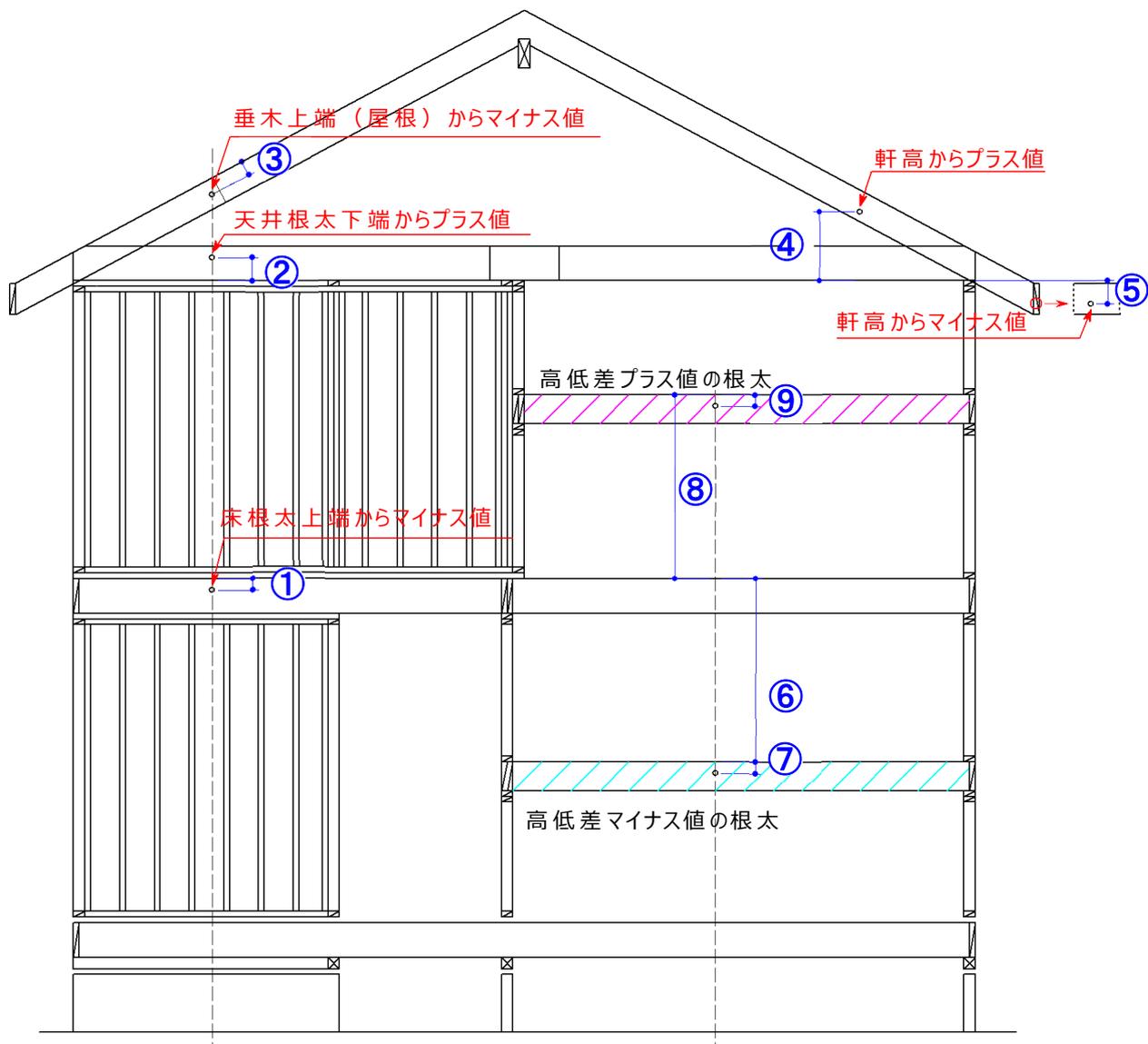
屋根ダクト穴加工配置の機能拡張



＜ダクト配置レベル設定＞

- ① 床ダクトは、対象となる床根太上端レベルよりマイナス値（①）です。
- ② 天井ダクトは、対象となる天井根太下端レベルよりプラス値（②）です。
※ 材に高低差がある場合、材高低差を考慮してレベル設定をしてください。
- ③ 屋根ダクトの勾配なりの配置は、対象となる垂木上端レベルよりマイナス値（③）です。
※ 勾配は自動計算されます。
- ④ 屋根ダクトの水平レベルの配置は、軒高よりプラスマイナス値です。
 - ・軒高からプラス値（④）
 - ・軒高からマイナス値（⑤）

屋根ダクト穴加工配置の機能拡張



⑤ 高低差がある根太にダクトを配置する場合は、以下の通りになります。

- ・高低差がマイナス値の根太
 マイナス高低差 (⑥) - マイナスレベル (⑦)
- ・高低差がプラス値の根太
 プラス高低差 (⑧) - マイナスレベル (⑨)